

第6回日本小児在宅医療支援研究会 「みんなで手をつなごう、小児在宅医療」

会 場：ソニックシティ（埼玉県さいたま市）

日 時：2016年9月3日（土）9：50～17：00

【A会場】4階 市民ホール

開会挨拶 9：50

田村 正徳

一般演題 10：00～11：40

「多様な問題提起、緩和ケア、災害対策」

座長 大山 昇一（埼玉県川口済生会総合病院小児科）

小泉 恵子（埼玉医科大学総合医療センター小児科）

A-1 重症心身障害児の大腿骨骨折の3例

埼玉県済生会川口総合病院 小児科

○井上久美子、馬嶋 恒博、新井 真理、澁谷 聖月、
小池 良子、池尻 佳奈、成高 中之、五十嵐麻依子、
内藤 朋巳、及川 奈央、大山 昇一

A-2 成人期の他施設移行支援における現状と課題

¹埼玉県立小児医療センター 在宅支援相談室 主任、²同 師長

○海上加代子¹、長谷部美知子²

A-3 小児在宅医療におけるプライマリ・ケア医の在り方・役割

～プライマリ・ケア連合学会でワークショップを開催してみた～

¹シティタワー診療所、²岐阜県総合医療センター 新生児内科、

³重度心身障がい児施設すこやか、⁴岐阜県庁医療福祉連携推進課、

⁵埼玉医大福祉会 医療型障害児入所施設「カルガモの家」

○島崎 亮司¹、寺澤 大祐²、中村 仁隆³、山田 育康⁴、奈須 康子⁵

A-4 小児脳脊髄腫瘍患者に対する在宅緩和医療

- ¹東京慈恵会医科大学 脳神経外科、
²埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科、
³東京慈恵会医科大学 小児科、
⁴埼玉医科大学国際医療センター がん患者支援センター、
⁵東京慈恵会医科大学 患者支援・医療連携センター
○柳澤 隆昭¹⁾²⁾、福岡 講平²⁾、鈴木 智成²⁾、山岡 正慶³⁾、
大山 亘³⁾、秋山 政晴³⁾、西川 亮²⁾、増本 愛¹⁾、
野中雄一郎¹⁾、御牧 由子⁴⁾、常喜 達裕¹⁾⁵⁾

A-5 小児在宅看取りの一例

- ¹熊谷生協病院小児科、²熊谷生協病院内科、³熊谷生協ケアセンター
○小堀 勝充¹⁾、山本佳乃子²⁾、栗原知亜紀（看護師）³⁾、
田島ひとみ（看護師）³⁾、乙川 明佳（理学療法士）³⁾

A-6 小児の長期脳死について 小児在宅医療への試み

- ¹埼玉医科大学病院小児科、²埼玉医科大学病院看護部、
³埼玉医科大学病院アレルギーセンター
○小川 俊一¹⁾³⁾、植田 穰¹⁾³⁾、日下石琴美²⁾、
山崎 太郎¹⁾、山内 秀雄¹⁾、徳山 研一¹⁾³⁾

A-7 A 病院小児科を主科とする医療的ケア児の災害時避難場所の確認

～Google マップによるマッピングの作成～

- ¹埼玉医科大学総合医療センター小児病棟看護師、
²埼玉医科大学総合医療センター小児特定看護師、
³埼玉医科大学総合医療センター小児病棟看護師長
○山田悠花子¹⁾、田村 佳子¹⁾、川島 瞳¹⁾、小泉 恵子²⁾、安藤てる子³⁾

A-8 八千代市に住む医療依存度の高い子どもとその家族の震災に備えて

—チームやちよキッズ活動報告—

- ¹千葉県習志野健康福祉センター（保健所）、²なないろこどもクリニック、
³まちのナースステーション八千代、⁴大和田訪問看護ステーション、
⁵東京女子医科大学八千代医療センター
○小林 朗子¹⁾、山口 朋奈²⁾、福田 裕子³⁾、井尻 弓子³⁾、高荷奈美子⁴⁾、
濱崎 志乃⁵⁾、田中 亜季⁵⁾、森口小津恵⁵⁾、福田 光宏³⁾

A-9 「在宅療養児のための防災文化祭」を開催して

神奈川県立こども医療センター¹⁾ 患者家族支援部、²⁾ 退院在宅医療支援室、
³⁾ 経営企画課、⁴⁾ 横浜市こども青少年局障害児福祉保健課、
⁵⁾ 神奈川県保健福祉局医療課、⁶⁾ 能見台こどもクリニック
○井上亜日香²⁾、西山 美季²⁾、安西 智子²⁾、丹羽 弥生²⁾、星野 陸夫¹⁾、
玉木 佑³⁾、浅野 美和⁴⁾、柴山 一彦⁴⁾、佐藤 祐子⁴⁾、土井麻里子⁵⁾、
一柳 和美⁵⁾、小林 拓也⁶⁾、二宮 悦⁶⁾

A-10 埼玉県立小児医療センター在宅支援相談室における災害への取り組み

¹⁾ 埼玉県立小児医療センター在宅支援相談室 主任、²⁾ 同、³⁾ 同師長
○小宮亜裕美¹⁾、大塚 利枝²⁾、長谷部美知子³⁾

【B会場】6階 601会議室

一般演題 10:00～11:50

「乳幼児に対するリハビリ・訪問看護・薬局の取り組み」

座長 奈倉 道明（埼玉医科大学総合医療センター小児科）
長島 史明（あおぞら診療所新松戸）

B-1 小児在宅医療は乳幼児揺さぶられ症候群にどう向き合うべきか

沖縄県立南部医療センターこども医療センター¹⁾ 小児総合診療科、
²⁾ 地域医療連携室
○松岡 孝¹⁾、利根川尚也¹⁾、泊 弘毅¹⁾、大川 哲平¹⁾、
松茂良 力¹⁾、安慶田英樹¹⁾、石嶺 彩香²⁾

B-2 人工呼吸器装着患者の在宅移行支援内容の検討～過去5年をふり返って

¹⁾ 公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 小児病棟、
²⁾ 同小児科
○森貞 敦子¹⁾、寺山 優子¹⁾、渡部 晋一²⁾

B-3 NICU/GCU から地域への取り組み

¹⁾ 大垣市民病院新生児集中治療室、²⁾ 大垣市民病院新生児治療回復室
○服部 京子¹⁾、野村 彩¹⁾、野村 弥生²⁾

B-4 NICU 退院後の訪問リハビリテーション

訪問看護ステーション ベビーノ
○小宮山 類、木庭小百合、平原 真紀

B-5 18トリソミー児の運動発達の経過報告

大阪発達総合療育センター¹⁾訪問看護ステーション めぐみ、²⁾小児科
○米持 喬¹⁾、福田 哲也¹⁾、絹川 美鈴¹⁾、和田 浩²⁾、船戸 正久²⁾

B-6 小児在宅支援を担う看護師に対するリハビリテーション研修の紹介

～事前・事後アンケート結果からみえた効果と課題～

¹⁾あおぞら診療所新松戸、
²⁾医療法人財団はるたか会・NPO 法人あおぞらネット
○長島 史明¹⁾、梶原 厚子¹⁾²⁾、前田 浩利¹⁾²⁾

B-7 医療機関からの訪問看護の事例

～重症心身障害児者施設の利用者などからの視点～

社会福祉法人聖母の騎士会 恵の聖母の家¹⁾看護師、²⁾医師
○後藤 愛¹⁾、長野 由香¹⁾、藤井 智恵¹⁾、佐藤 圭右²⁾

B-8 在宅皮下注射の導入に向けて、訪問看護師による HPS としての遊びの支援

—初回訪問における「またきてね」の言葉が意味すること—

大阪発達総合療育センター¹⁾訪問看護ステーションめぐみ、²⁾小児科
○西尾 恵美¹⁾、岩戸さゆき¹⁾、南 智子¹⁾、
絹川 美鈴¹⁾、和田 浩²⁾、船戸 正久²⁾

B-9 適正な診療材料の提供の変遷

—小児在宅医療を支えたい病院の思い—

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター¹⁾小児外来看護師、
²⁾小児総合診療科医師
○宮里 由美¹⁾、比屋根三和子¹⁾、島袋 琴美¹⁾、松岡 孝²⁾

B-10 生きづらさを抱えて、住み慣れた地域で暮らすお子様を支えるために、
薬局薬剤師にできること

¹⁾ココカラファイン薬局砧店在宅調剤サポートセンター、²⁾昭和薬科大学
○川名三知代¹⁾、初田 稔¹⁾、串田 一樹²⁾、廣原 正宜²⁾

B-11 在宅医療の推進における薬局機能と薬剤師の役割

～小児在宅医療における薬局の課題～

¹⁾昭和薬科大学、²⁾ココカラファイン薬局砧店 在宅調剤サポートセンター
○串田 一樹¹⁾、川名三知代²⁾、初田 稔²⁾、伊藤 理恵¹⁾、
神林 弾¹⁾、安井 浩¹⁾、廣原 正宜¹⁾

【C会場】6階 602会議室

一般演題 10:00～11:50

「家族への支援、福祉・教育との連携による取り組み」

座長 奈須 康子（医療型障害児入所施設カルガモの家）

菅沼 雄一（医療型障害児入所施設カルガモの家）

C-1 医療型障害児入所施設における具体的総合目標の設定と意識づけの試み ～在宅移行支援施設としてのチームアプローチ～

カルガモの家¹⁾リハビリテーション部、²⁾看護部、³⁾療育部、⁴⁾栄養部、⁵⁾相談室、⁶⁾医局

○吉井 牧子¹⁾、富樫 怜奈¹⁾、青木加奈子²⁾、鈴木 綾子²⁾、林 しのぶ²⁾、
左近亜由美²⁾、小山 明子²⁾、佐伯 美紀²⁾、原田 祐子²⁾、宮川由美子³⁾、
桑原 春香³⁾、田中 和美³⁾、細田みゆき³⁾、矢島 弘一³⁾、江田 琴音³⁾、
高桑 佳織³⁾、高井 彩乃⁴⁾、福島 千景⁵⁾、加藤 康子⁵⁾、長谷川朝彦⁶⁾

C-2 医療的ケアを要する子どもの母親が退院後に抱く思い

¹⁾三重大学医学部附属病院小児トータルケアセンター、
²⁾三重大学医学部看護学科、³⁾鈴鹿医療科学大学看護学部、
⁴⁾兵庫県立大学看護学部

○奥野 祐希¹⁾、村端真由美²⁾、杉本 陽子³⁾、末藤 美貴¹⁾、
井倉 千佳¹⁾、河俣あゆみ¹⁾⁴⁾、岩本彰太郎¹⁾

C-3 病状不安定な重症児を持つ在宅移行不安の強い家族への支援

熊本再春荘病院小児科

○東 沙嬉、大塚 愛子、坂本 佳奈、木村 由美

C-4 当院における在宅療養児とその家族の現状把握と課題抽出の取り組み

～在宅療養中の子どもと家族の交流会（クリスマス会）を通じて～

福岡大学病院¹⁾地域医療連携センター、²⁾キャリア開発センター

○村山 順子¹⁾、松本祐佳里²⁾

C-5 当ヘルパーステーションにおける医療的ケアの現状と課題

大阪発達総合療育センター¹⁾ヘルパーステーション めぐみ、²⁾小児科

○宮崎 俊也¹⁾、和田 浩²⁾、船戸 正久²⁾

C-6 当センターの利用児からみる相談支援事業の現状と課題

社会福祉法人愛徳福祉会

¹⁾大阪発達総合療育センターいぶき（相談支援事業所）、²⁾小児科

○前田 好亮¹⁾、近藤 正子¹⁾、和田 浩²⁾、船戸 正久²⁾

C-7 埼玉県内における医療的ケア対象児童・生徒の

公立小・中学校における支援の現状

シャローム病院 小児科

○中村小百合

C-8 特別支援学校における医療的ケアの実態について

社会医療法人宏潤会大同病院 小児科

○水野美穂子

C-9 長野県自立支援協議会療育部会重心・医ケアWG発足とその活動について

～「支える人」の「支えあい」～

長野こども療育推進サークルゆうテラス 代表

○亀井 智泉

C-10 小児在宅医療におけるICT活用による情報共有の検討

～小児在宅療育電子連絡帳ネットワーク

“長野こどもしろくまネットワーク”の運用～

長野県立こども病院 療育支援部

○牧内 明子、三間真理子、樋口 司

C-11 その人らしいライフスタイルを支援者に正確に伝えるツール

～本人と支援者を繋ぐ「サポートファイル」の定着を目指して～

北九州市立総合療育センター 地域支援室

○志垣百合子、青木ひとみ、二子石由紀、牧 哲也、横田 信也

【A会場】4階 市民ホール

特別講演 12:20～13:10

座長 田村 正徳（埼玉医科大学総合医療センター小児科）

熊本阿蘇地震における小児在宅医療への関係者の対応

熊本小児在宅ケア・人工呼吸研究会

緒方 健一

シンポジウム基調講演 13:30～13:50

座長 前田 浩利（医療法人財団はるたか会
あおぞら診療所新松戸）

梶原 厚子（医療法人財団はるたか会
NPO 法人あおぞらネット）

小児在宅医療と災害時支援～小児周産期災害リエゾン設置について

厚生労働省医政局地域医療計画課 小児周産期医療専門官

松本 陽子

シンポジウム 13:50～16:55

「災害時における多職種協働」

座長 前田 浩利（医療法人財団はるたか会
あおぞら診療所新松戸）

梶原 厚子（医療法人財団はるたか会
NPO 法人あおぞらネット）

SY-1 熊本阿蘇地震での、当施設スタッフの対応

特定短期入所施設「かぼちゃんクラブ」、おがた小児科内科

○新塘久美子、宮崎ひさみ、森 三奈美、廣瀬 香織、
谷川章太郎、中島 美晴、緒方 健一

SY-2 平成28年熊本地震—そのとき現場では—

認定NPO法人NEXTSTEP 小児在宅支援部門ステップ

○田北 洋子、中本さおり、田中 美晴、大津 隆太

SY-3 熊本地震における緊急避難入院の現状～熊本再春荘病院～

熊本再春荘病院

○中本 恵、笠 育美、木村 由美

SY-4 熊本地震における対応について

熊本再春荘病院、認定 NPO 法人 NEXTEP

○島津 智之

SY-5 熊本の災害に学ぶための実態調査について

日本小児在宅医療支援研究会

○梶原 厚子

SY-6 熊本地震における緊急レスパイトからデイサービスの設置への流れ

NPO 法人ふわり 社会福祉法人むそう 理事長

○戸枝 陽基

SY-7 災害時における多職種協働

医療法人財団はるたか会 あおぞら診療所

○田中総一郎、前田 浩利、梶原 厚子

閉会挨拶 16：55

側島 久典